

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業
2. 交付金事業の事業主体 奈良県
3. 交付金事業の実施場所 奈良県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

燃料電池電源システムや燃料電池スタンダードキット、太陽光蓄電セット等を整備し、活用した。

(2) 施設見学の実施

大型放射光施設 SPring-8 やコスモ石油堺製油所、大阪公立大学人工光合成研究センター等を見学した。

(3) 講演会の実施

有識者による、放射線や発電・エネルギーについての講演会を実施した。

(4) 教員研修の実施

放射線や発電・エネルギー教育に関する教員研修を実施した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 3, 576, 293円

交付金充当額 3, 576, 293円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・ 当事業により原子力やエネルギーについて、生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 80%に対して実績 100%、施設見学事業が目標 80%に対して実績 88%、講演会事業が目標 80%に対して実績 90%、教員研修事業が目標 80%に対して実績 100%であった。実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会事業を実施したことにより、生徒が自ら積極的に学ぼうとする姿勢が見られた。生徒の原子力・エネルギーに関する興味・関心が高まり、これらの理解が促進された。
- ・ 当事業により原子力やエネルギーに関する教育のための教育整備が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 80%に対して実績 100%、施設見学事業が目標 80%に対して実績 98%、講演会事業が目標 80%に対して実績 97%、教員研修事業が目標 80%に対して実績 100%であった。本事業を実施したことにより、原子力やエネルギーに関する教育のための環境整備として、実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会、教員研修事業が促進されたと評価できる。